

# せたがや 町総連だより

## 第53号

発行 世田谷区町会総連合会  
世田谷区若林4-31-9 ポライト第2ビル202  
☎・FAX 5481-3456

編集 情報誌編集委員会  
編集委員長 堀江 義之

### 地域情報

#### 世田谷地域

## 来年創設50周年を迎えるふれあいの町〈野沢四丁目自治会〉

野沢四丁目自治会 会長 田嶋 宏

区域は世田谷区野沢四丁目全域。環七沿い、上馬交差点から野沢交番までの間の南西側（環七外回り）長さ約900メートルの細長い三角の地形をしています。環七沿いには昔賑やかな野沢銀座商店街だった面影はもはやなくなったものの、スーパーマーケット、レストラン、マンションのビルが落ち着いた新しい街並みをつくり、しかし脇道に一步入ると閑静な住宅地が昔と変わらず住み心地よく安らぎを感じさせてくれます。長年住んでいる方も多く、交通が便利で、駒沢オリンピック公園や東京医療センターが散歩圏内にあり正に居住に快適な町です。

野沢四丁目自治会はこの「住み心地」、それを支える「人の和」及び「地域の安心安全」を大切に、おかげさまで来年2022年5月に創設50周年を迎えるところです。

自治会の活動は例年、1月には新年会、春と秋には交通安全運動と地域安全運動および避難所運営訓練、夏から秋に花火大会と親睦バス旅行、12月には歳末パトロールと他の町会・自治会とほぼ同じです。

野沢4丁目には一つ恵まれた環境があります。

野沢4丁目の篤志家から世田谷区に寄付された家屋（広い庭の樹木、草花も美しい）が「野沢ふれあいの家」として平成22年度にオープンし、高齢者クラブや自治会、社協等の活動で大いに利用されています。昨年は新型コロナ感染対策で中止しましたが、例年12月にここでもち

つき大会を開催し300人以上の親子が参加し親睦を深めています。地域の中心に位置し、地域にとって楽しい、くつろげる大変ありがたい施設です。



野沢ふれあいの家

自治会活動の活性化の為に自治会への加入率を高めることが重要です。当地は2010年前後から環七外回りに6階から9階建ての大きなマンションが次々に建てられましたが、幸い各管理組合が自治会の申し入れに応じて全員が自治会に加入し、しかも自治会担当役員を出していただくことが自治会活動への協力とまちづくりに良い結果をもたらしました。以前からあった30戸以上の中高層マンションを含めると全部で約10棟、500戸になりました。

地区の住民票の総戸数約1900戸に対し自治会加入は1200戸（加入率で63%）、内マンションが500戸（会員1200戸の内41%）。マンションの自治会へ参加の成否が鍵となってきています。

来年度に向けて、①情報の連絡は「回覧」→「掲示板」への転換、②大きな地震の際の要介

護者への安全確認・声かけを目指します。

野沢児童遊園の桜と野沢ふれあいの家の木花や池のヒキガエルのおたまじゃくしといった自然とのふれあいが来年の自治会創設50周年を飾ってくれるでしょう。楽しみです。

## 北沢地域

# あと数年でシモキタは「安全な街」に

北沢2丁目南町会 会長 吉田 罔 吉

数年前から、下北沢の駅前周辺の整備工事が進められております。一昔前の下北沢駅をご存知の方々は、今日の大きな変貌に惑わされておられるかも知れません。

振り返りますと、今から37年前（昭和59年）将来の街のより良い在り方を検討することを目的として、下北沢駅を囲む町会と商店街とで「下北沢街づくり懇談会」を組織して、「安全で安心して生活（居住・事業・商売）が出来る街環境づくり」を目指したコンセプトの基に、国・都・区の整備事業に協力し活動して参りました。

下北沢周辺は幸い戦災に遭わず、昔のままの狭い路地状の道が多く、自動車も走り難い街並みで、それが他所から来る若者には「大きな魅力」になっていましたが、「安全な街並み」ではありませんでした。

下北沢の街は「シモキタ」と呼ばれ、区内の二子玉川・三軒茶屋とともに非常に人気のある街です。

8年前（2013年）に地上を走っていた小田急線が地下に潜る前夜、最終電車を見送る若い人たちが押し寄せた時は、異常な雰囲気で大変な話題に上がりました。



2013年3月22日  
地表の最終電車を見送る人々

小田急線の「連続立体複々線化事業」で線路が地下に潜ったので、地表の線路跡地が生まれました。

また、京王井の頭線の「盛り土が削られ高架式」に改築されたことと合わせて、下北沢に必要なのに欠如していた諸々の公共施設が、世田谷区・小田急京王両電鉄によって、一つずつ進められ、私たち地元が長年求めて来た「街の整備要望」が実現しつつあります。

地元の私たちが最も必要とした施設は、小規模で構わない「駅前広場」です。

## [1]街の安全性の向上

（地元民・事業者・商業者・来街者の生命と財産を守る、消防車の入れる駅前、緊急災害時の際の一時避難空間として）

## [2] 駅前の交通利便性の悪さの改善

(駅前バスやタクシーを必要とする高齢者・急な雨天・幼児連れなどが困っている場面が多い)

## [3] イベント企画があっても催せる場所がない

まだ、諸施設の完成には、あと数年掛かりますが、完成後は「地元住民の住み続けたい街・住みやすい街・商売や事業のしやすい街・来街者が魅力を感じる街・必要施設も整い良好な環境の街」になることを確信しております。

私も40年間（私の過ごした人生の約半分）この事業に関わって来ましたが、もう老兵です。これからは次世代の人たちが、新しい時代に見合った更に良い街にしてくれることを楽しみにしております。



現在の駅前・完成後は  
利便性のある駅前広場になります

## 玉川地域

# コロナ禍にあっても、今できることを！

用賀南町会 会長 鈴木敏章

これまでに経験したことのない、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、私たち用賀南町会も、これまでの恒例イベントを中心に活動中止を余儀なくされているところです。しかしながら、このピンチの時代だからこそ、今後の町会活動の展望をしっかりと構想していくべく、コロナ対策を心掛けながら、改めて用賀の地勢や歴史を振り返るとともに、現在、用賀で元気に活動している様々な団体の状況などを調査・研究し、学識者へのヒアリングなどにもいそいでいる毎日です。

ところで、変異種を含めた新型コロナウイルスの感染拡大が第4波を迎え、これまでも増してマスクの着用は言うに及ばず、手洗い、うがいも習慣づいてきたところですが、収束の兆しが未だに見えない中、私には不安の要素が頭から離れません。

昨年の特別定額給付金の配布や今般のワクチン接種に関わる莫大な経費から、これからの日本経済を立て直していくための財源の確保がどのような形で実施されるかです。用賀の商店街では、ありとあらゆる工夫を重ねて経営を維持しているところですが、今後、さらに自粛要請が続けば、いずれは店じまいしていく店舗が増え、まちの勢いも徐々に陰りを見せていくかもしれません。また、比較的収入の安定している不動産経営事業者を中心に、これまでにない打撃が襲来する可能性もあります。

では、地域を守る立場にある町会として、今、何をしていくべきでしょうか。

今こそ「地域コミュニティ」をこれまで以上に活性化させ、「地域の絆」を盤石なものにしていくことが基本ではないかと考えています。

そのために、用賀の魅力発掘、清掃、高齢者

介護、子ども支援など、あらゆる活動団体と町会組織とがしっかり連携し、まちを「一枚岩」にしていくことが肝要ではないかと感じております。

用賀の将来のために、これまでも昼夜を問わず東奔西走し、用賀のまちを盛り上げるべく日夜努力しているつもりですが、我々用賀に根付き、代々築きあげてきた「用賀のブランド」を、

しっかり多くの仲間たちと継承するとともに、地域の学校や大使館などとの連携も視野に入れ、かの伊藤博文公が名付け親である「京西小学校」など用賀ならではの隠れた魅力をさらに発掘、アピールできるよう、引き続き私に与えられたポジションを深く噛みしめながら自ら行動するとともに、後進への支援の充実を図っていきたいと考えております。

## 町総連ニュース

**表彰** ▼令和3年6月17日 東京都町会連合会表彰  
額賀 安平 理事 (大原西町会 会長)  
塩谷 良一 理事 (奥沢交和会 理事長)  
新井 貞次 理事 (上北沢町会 会長)

### ◎町総連情報誌編集委員会名簿

役職名	氏名	所属町会・自治会名	役職名	氏名	所属町会・自治会名
委員長	堀江 義之	若林町会	委員	栗原 幹雄	祖師谷千歳台自治会
委員	網敷 光剛	弦巻町会	〃	荻野 壽一	岡本自治会
〃	上野 民雄	北沢中央自治会	〃	高橋 宗和	成城通りパークウエスト自治会
〃	阿部 平四郎	馬事公苑前ハイム管理組合	〃	松尾 秀好	児ヶ谷会

※次号は砧地域・烏山地域の情報を掲載します。

### 編集後記

COVID-19 (新型コロナウイルス) によるパンデミックは、ワクチンの開発で明るい兆しが見え始めてはいますが、変異株の出現など、依然として楽観できない状態です。

ここ1年の間に生活様式が大きく変わり、3密を避ける結果、ご近所との繋がりが希薄になってしまった気がします。感染拡大防止のために回覧板を止めて掲示形式に変更した町会もあると聞きます。

この「町総連だより」の編集も、通常なら町会・自治会から選出された編集委員が集まった編集委員会が開催されるのですが、現在はメールベースのため事務局に多大なご負担をお掛けしています。この様な状況下ではありますが、町会・自治会の活性化を図るために、他の町会・自治会の取り組みを参考にさせていただければ、との思いで編集をしています。

編集委員 高橋 宗和

世田谷区町会総連合会のホームページ

世田谷区町会

検索

※QRコード



バーコードの一種で、携帯電話で撮影して、簡単にホームページを見ることができます。